

# Tokai

広報とうかい お知らせ版  
人・自然・文化が響き合うまち

February [No.203]

2・25

Bi-monthly Magazine  
for The People of Tokai

2009年 [平成21年]



①新規就農者による地元農産物の販売 ②資源を大切にしようとしてマイ箸作り ③赤星さんは「要らない物を持たないと徐々にごみは減っていく」と話します ④木材に代わる製紙原料として注目される「ケナフ」を使った紙すき ⑤村内小・中学生による地球環境保全を呼び掛ける環境ポスター ⑥石神小学校児童による環境活動発表 ⑦家庭で不要になった物を使ってもらおうと「もったいないバザー」 ⑧東海南中学校吹奏楽部による演奏

## 子どもたちに今ある環境を残したい！ 「とうかい環境フェスタ」を開催

「子どもたちに今ある環境を残したい」「幼いころから環境に興味を持ってもらいたい」と、「とうかい環境フェスタ」(主催・とうかい環境フォーラム実行委員会)が2月14日、総合体育館で開催されました。「もったいないバザー」や地球温暖化を考えるパネル展示・実演が行われる中、石神小学校の児童は「サケの稚魚の飼育・放流を通して環境を守る使命感を感じた」などの環境活動を発表。基調講演「気持ち良い生活、ゴミを出さない暮らし」では、漫画家・赤星たみこさんが自ら実践するごみを減らす方法として、「使わないものは家に持ち込まない」「マイ箸の使用」「ペットボトルの活用法」などを紹介しました。

## Contents [情報満載]

平成21年立志式・380人が一生の志を立てる… 2  
 ず〜むあっぷ「まちの風景」／廃食用油を  
 BDF燃料へ、健康のための市民フォーラム… 3  
 募集／生涯学習センター(仮称)建設検討委員、  
 アイダホフォールズ市訪問交換学生ほか… 4  
 催し物、エトセトラ／昔話や伝説を聞こう、  
 特定疾患患者等へ医療福祉助成金ほか… 5  
 げんきアップ通信／インフルエンザについて… 9  
 ふるさと歴訪(歴史を再発見)／村の記憶… 10

「輝」▼今の自分をこえる自分。

14歳・380人が一生の志を立てる

# 平成21年「立志式」

「立志とは——「われ十有五にして学に志す」

東洋では、15歳立志という言葉が古くから言い続けられてきました。紀元前6世紀〜5世紀の中国に生きた、儒教の創始者・孔子の「論語」に書かれた「われ十有五にして学に志す」という有名な言葉からきている人生観です。満年齢で14歳、青年期を迎えるころに生涯の志を立てるのは、一人前の大人になるためのことと見なされ、「立志式」は、その昔、公家・武家が行った12歳前後の男子の成人式のようなものとも言い換えることができます。現在の「立志式」は、「社」日本児童文芸家協会（東京都千代田区）の提唱によるもので、自覚・立志・健康を目標に掲げ、14歳を迎えた少年・少女を祝い励ます機会として、2月の立春のころに合わせて行われています。

## 平成21年「立志式」を通して目指すもの

就職・進学を問わず、近年の進路をめぐる環境変化は、生徒の勤労観・職業観を育成することで、将来に対して生き生きとした夢と希望を持たせ、「生きる力を身に付ける」キャリア教育を求めています。そこで、今年の「立志式」で目指すこととしたものは——。二つに掲げたのは、自分の生き方を振り返り、「人としての在り方・生き方」を考え、「自分の在り方・生き方」を見つめ、「一人ひとりがこうありたい」と

東海中学校と東海南中学校の生徒380人の平成21年「立志式」が2月6日、東海文化センターを会場に開催されました。14歳、中学2年生という年齢を迎え、彼らは、彼女たちは、自分と友、限らない未来を信じ、これからも「生懸命努力していくことをそれぞれに誓い合いました。今月の「広報とうかい」では、「立志」にスポットを当てます。

生きたいという思いを深く心に刻めるようにすること。この日の「立志式」の開催に向けては、東海中学校・東海南中学校の2年生10人による実行委員会が組織され、式典の成功に努めるとともに、一年にわたる「立志の年推進事業」への取り組みを通して、生徒全員が①人間関係形成能力②情報活用能力③将来設計能力④意思決定能力——をはぐくむ力を身に付けてきました。地域・商工会の支援・協力を受けての職場体験、スカシユリ植栽事業（郷土触れあい事業）、国際親善姉妹都市米國アイダホフオールズ市学生訪問団との国際交流、「友情の船」（北海道研修の旅）や「東海I・M Oのまつり」「東海やったん祭」を通しての地域交流などは、立志テーマ「私たちがどう生きるか（私の将来の夢と希望づくり）」にどう結実していったのでしょうか。その答えは、平成21年「立志式」の実行委員長を務めた東海中学校の河村雄輝君の言葉に表れていました。

## 「自己実現に向けて」（河村雄輝君による 実行委員長あいさつより）



「社会体験学習で仕事の現場に入った私たちは、人間関係の基本である礼儀の大切さと、より良い仕事をやり遂げるこの大変さ、大切さを感じることができ、社会で責任を持つて働くことの意義や仕事についての考えを深めることがで

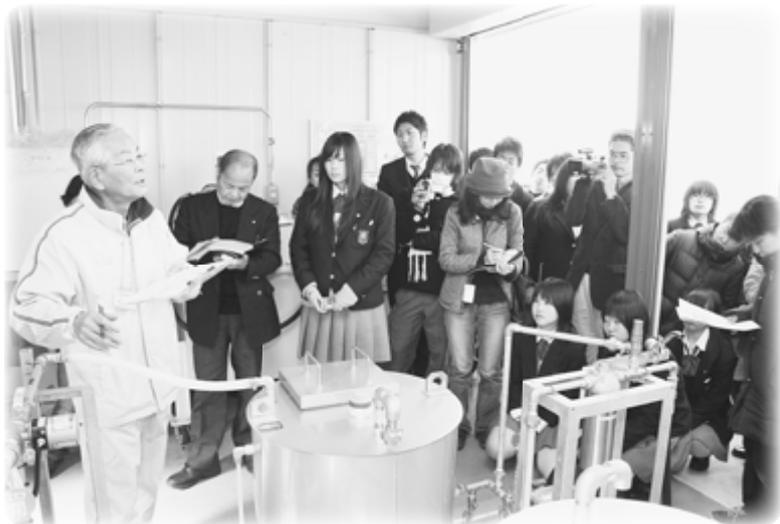
きました」。河村君は、「立志」に当たつての生徒全員の思いをこのように話しつつ、東海村の花・スカシユリの植栽を通しては、ふるさとの伝統・自然を守り、受け継ぎ、次の世代に伝えていくこと、自然という視点から東海村を見直すことができたことなど、年間を通しての活動の数々を振り返りました。反面、これらの活動の中では、「自身の未熟さにも気付かされたようです。しかし、河村君は、最後にこう結びました。「私たちには、欠点があるからこそ、より良い生き方を目指し、それを克服しよう」と努力できます。自身の未熟さは、自己実現に向けて前進する私たちの原動力となるのではないのでしょうか。」



東海中学校（左）と東海南中学校の生徒による「私たちのメッセージ」発表

## お問い合わせ

教育委員会指導室 ☎ 282局 17711 内線 1415



「リサイクルプラザとうかい」内に設置のBDF製造装置を前に、その製造工程などについて説明する平田さん(左)と、話に聞き入る見学者の皆さん。説明後は、活発な質疑応答が行われました。

## ●廃食用油からBDF燃料へ 始動したエコプロジェクトに興味津々

2月8日、村とNPO法人「東海村菜の花エコプラン」(代表・藤井学昭さん)による、「STOP温暖化! 廃食油を燃料へ 地産地消で地域活性化」が催され、茨城大学教授の中島紀一さんによる講演や、県立水戸農業高等学校(食品科学部)の生徒による発表などが白方コミュニティセンターで行われました。中でも、BDF(バイオディーゼル燃料)を給油したディーゼル自動車の試走と、「リサイクルプラザとうかい」内に設置のBDF製造装置の見学には、寒風感じる冬日にもかかわらず、多くの参加者が――。BDF使用自動車の排ガスがクリーンであることを証明する簡易テストをはじめ、参加者を乗せての「リサイクルプラザとうかい」までの試走、「東海村菜の花エコプラン」によるBDF製造についての説明などの過程では、熱心に聞き入る様子が多く見られ、環境問題への関心の高さがうかがえました。法人で理事を務める平田英世さんによれば、「参加者の方々から尋ねられた質問内容は、どれも具体的で、BDFというものに対する興味深さを実感できるものでした」と満足げ。しかし、将来に課題がないわけでもなく、「例えば、BDF製造装置の廃食用油処理能力が月間2,000ℓであることに對して現在の回収量が約530ℓと少ないことや、製造したBDFの利用先拡大、製造上の技術的課題など、試行錯誤しながら一つ一つ解決していかなければならないことが多い」とも話します。昨年12月に始まったばかりのこの取り組み。平田さんは、「始まってまだ2か月ですが、製造したBDFが村の公用車(ディーゼル自動車)の燃料として使用されることをはじめとして、さらに活用範囲を、すそ野を広げていくべく、村と協力して研究・啓蒙活動に努めていきます」と意気込みを見せます。村における地球温暖化の防止と循環型社会の形成に貢献していくためにも、廃食用油活用への多くの皆さんのご理解とご協力をお願いします。

## ●那珂医師会が健康のための市民フォーラムを開催

「ライフスタイルと疾病予防」をテーマとする、社団法人那珂医師会(会長・尾形孝<sup>たかし</sup>さん)ほか主催の「市民フォーラム2009イン東海」が2月14日、東海文化センターを会場に「招待講演」とワークショップ(研究集会)という形で開催されました。講演では、テレビ等でおなじみのウォーキングドクター・デューク<sup>きらいよ</sup>更家<sup>さらいよ</sup>さんを特別講師に迎え、メタボリック症候群の予防につながる独自のエクササイズ「デュークスウォーク」について実技指導を交えながら講話。健康維持には正しい歩き方を知って「歩く」ことが重要で、歩くときのポイントは「地面に垂直に立ち、自分の肩幅より広くならないように手を振り、足を踏み出し、体の重心が一本の線上を移動するようなイメージで…」などとアドバイスしつつ、巧みな話術で約400人の来場者の笑いを誘いました。他方、第



ワークショップで発表する河野史尊さん(左)と深井志摩夫さん

二部として行われたワークショップでは、「エビデンスのある検診システムをもとめて」をテーマに、医師会を代表して河野史尊<sup>こうのふみたか</sup>さん(那珂市・河野胃腸科外科院長)と深井志摩夫<sup>ふかひし</sup>さん(茨城東病院院長)の2人ががん検診の現況やエビデンス(臨床結果)などについて発表。「がんによる死亡者が3割を占める現在、検診の精度や費用、受診の間隔には課題も残されているが、検診を受けることによって早期発見と治療が可能となるので、積極的な受診を勧めたい」と説きました。

## 3月の就労相談・DV相談・消費生活相談

ドメスティックバイオレンス

場 所 相談室No.1・No.2 (役場行政棟2階・村民相談室内)  
問 合 せ 総務部自治推進課村民相談室(内線1275)  
●就労相談 ☎287-0862 …午前9時～正午、午後1時～5時  
3日(火)、6日(金)、10日(火)、13日(金)、17日(火)、24日(火)、27日(金)、31日(火)  
●DV相談 ☎287-0863 …午前9時～正午、午後1時～4時  
2日(月)、4日(水)、5日(木)、9日(月)、11日(水)、12日(木)、16日(月)  
18日(水)、19日(木)、23日(月)、25日(水)、26日(木)、30日(月)  
●消費生活相談 ☎287-0858 …午前9時～正午、午後1時～4時  
2日(月)、3日(火)、4日(水)、5日(木)、6日(金)、9日(月)、10日(火)  
11日(水)、12日(木)、13日(金)、16日(月)、17日(火)、18日(水)、19日(木)  
23日(月)、24日(火)、25日(水)、26日(木)、27日(金)、30日(月)、31日(火)

お知らせ・ピックアップ

いんぽお  
めーしょん  
役場の  
電話番号 ☎ 282-1711(代表)

## 「東海村生涯学習センター」(仮称)建設検討委員を募集

村では、「東海村生涯学習センター」(仮称)建設計画の検討を住民の皆さんとの協働で行うため、検討委員会委員(15人を予定)のうち、2人程度を公募します。この検討委員会は、中央公民館の抱える課題などを踏まえ、今後村にとって必要な生涯学習の在り方や生涯学習活動の拠点となる施設の建設に当たる基本計画の策定が主な任務となります。任期中は年10回程度の会議に出席し、基本構想・計画に盛り込む内容の検討などを行います。

■対 象 ①村内在住の20歳以上(平成21年4月1日現在)②公務員でない③月曜日から金曜日の日中または夕方(午後6時30分以降)に開催の会議に出席可能——のすべての要件を満たす方  
■任 期 4月1日から基本計画策定(平成21年度中を予定)まで

■謝 礼 1回2,000円

■選考方法 課題作文(課題「応募の動機と生涯学習によるまちづくりについて」)の事前提出(1,200字程度、書式は任意)に基づき、「東海村生涯学習センター(仮称)検討委員会公募委員選考委員会」が選考し、応募者全員に結果を通知します。なお、選考に当たっては、「東海村附属機関等の設置及び運営の基準を定める規則」に基づき、委員の男女構成比率は男女ともに4割を超えること、一人の委員の兼任は3機関以内などの基準を適用します。

■申し込み・問合せ 3月19日(木)までに課題作文を持参の上、教育委員会社会教育課生涯学習担当(内線1425)へ申し込みください。

## 「家庭菜園利用者募集」

東海村家庭菜園設置組合が貸し出す白方・豊岡地内の畑地で、野菜づくりなどをしてみませんか。

■利用期間 3月1日(日)～平成22年2月28日(日)

■費 用 一区画当たり年間3,000円(1区画50平方メートル、1人3区画まで利用可)

■申し込み・問合せ 2月25日(水)以降(土・日曜日と祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に先着順で受け付けますので、利用料と印鑑をお持ちの上、経済環境部経済課農業振興担当(内線1436)へ申し込みください。

## 募集

### 「村立図書館臨時職員募集」

■雇用要件 ①村内在住②高等学校卒業以上③通勤可能④基本的なパソコン操作が可能⑤図書館運営や読書活動に熱意がある——のすべての要件を満たす方(2人)

■雇用期間 4月1日から9月30日まで

■勤務日・時間 週2日～3日の交代勤務で、水・木曜日は午後3時15分から7時15分まで、土・日曜日は午前8時30分から午後5時15分まで。※その他、館長が指定する日の勤務があります。

■賃金等 時給870円(通勤手当別途支給)

■選考方法 3月4日(水)の午後1時30分から面接試験を行います。

■申し込み・問合せ 3月3日(火)(月曜日を除く)の午後5時までに履歴書(顔写真を添付)をご用意の上、図書館(☎282-3435)へ持参ください。

### 「高齢者はつらつ百人委員会」委員募集

「高齢者はつらつ百人委員会」は、茨城県と社会福祉法人茨城県社会福祉協議会・茨城わくわくセンターの支援を受け、高齢者自らが地域の高齢者を対象に健康・生きがいづくりに関する事業を企画・実施する委員会です。

■対 象 県内在住のおおむね60歳以上で、委員会の活動に出席できる方(地方公共団体の長・議員を除く)

■任 期 4月から平成23年3月末日まで

■そ の 他 報酬・交通費等の支給はありません。

■申し込み・問合せ はがきに、住所・氏名(フリガナ)・年齢・性別・電話番号と、応募の動機・活動の抱負・社会活動歴など(200字程度)を明記し、3月13日(金)(当日消印有効)までに、社会福祉法人茨城県社会福祉協議会・茨城わくわくセンター(〒310-8586 水戸市千波町1918 ☎243-8989)へ申し込みください。

## 3月の健康体操参加者募集

時間	午前9時30分～11時	
問合せ	保健センター(☎282-2797)	
●はつらつ健康体操(チューブ体操、ストレッチ体操など)		
対象	期日	場所
村内在住であおむね65歳以上の方(体力に応じて65歳未満の方も参加できます)	6日(金)	総合福祉センター「絆」
	13日(金)	総合福祉センター「絆」
●エンジョイ・ヘルスアップ(ストレッチ体操、ヨガなど)		
対象	期日	場所
村内在住で40歳以上65歳未満の方	5日(木)	白方コミュニティセンター
	12日(木)	村松コミュニティセンター

## 3月の心配ごと相談・人権相談・行政相談・法律相談

場所	心配ごと相談所(総合福祉センター「絆」内)	
問合せ	社会福祉協議会(☎282-2804)	
相談日	時間	相談種別
6日(金)	10:00～14:00 (法律相談は正午まで)	心配ごと相談 人権相談・行政相談 予約制法律(弁護士)相談
13日(金)	10:00～14:00	心配ごと相談 人権相談・行政相談
27日(金)	10:00～14:00	心配ごと相談 人権相談・行政相談
毎週月・水曜日	13:30～15:00 (祝日を除く)	心配ごとと電話相談 (☎282-0917)

## 姉妹都市アイダホフォールズ市学生訪問団員募集

村と東海村国際センター(東海村姉妹都市友好協会)では、村の国際親善姉妹都市・米国アイダホフォールズ市を訪問する学生を募集します。ホームステイをしながら、学生と交流を深めることで、文化の違いや英会話を体験・学習することができます。ぜひ、ご参加ください。

- 期間 7月24日(金)～8月5日(水)
- 対象 村内在住の中学生および高校生(先着18人)平成21年3月1日現在で小学6年生から高校2年生の方に限ります。
- 費用 個人負担28万円程度(別途1人当たり10万円の補助あり)。※航空運賃の改定や燃料サーチャージ等により金額が変動する場合があります。
- 申し込み・問合せ 村内の小学校と中学校に在学の児童・生徒は各学校から配布の参加申込書を、村外の小中学校に通う児童・生徒と高校生は役場自治推進課に備え付けの参加申込書(村公式ホームページ<http://www.vill.tokai.ibaraki.jp/>)からもダウンロード可)に必要事項を記入の上、3月2日(月)から31日(火)までに、総務部自治推進課ハーモニー・交流担当(内線1343)または東海村国際センター事務局(東海村姉妹都市交流会館内 ☎282-0535)へ申し込みください。

## 水中体操教室参加者募集

### 健康維持コース

「1組」「2組」「土曜」の3クラスに分けて行います。

### ■日程等

クラス	曜日	定員
1組	月	先着13人
2組	金	先着13人
土曜	土	先着13人

- 期間 各クラスとも、前半は4月6日(月)から6月22日(月)まで(各週1回)、後半は7月3日(金)から9月26日(土)まで(各週1回)
- 時間 午前9時30分～10時30分
- 対象 村内在住のおおむね65歳以上の方

### リハビリテーションコース

- 「リハビリ1組」「リハビリ2組」「リハビリ3組」の3クラスに分けて行います。
- 期間 **リハビリ1組**…前半は4月6日から6月22日までの毎週月曜日、後半は7月6日から9月14日までの毎週月曜日 **リハビリ2組・3組**…前半は4月9日から6月18日までの毎週木曜日、後半は7月2日から9月17日までの毎週木曜日
- 時間 **リハビリ1組・2組**…午後1時～2時 **リハビリ3組**…午後2時30分～3時30分
- 対象 村内在住の40歳以上で、障がいがあり、機能回復訓練を希望する方(医師の意見書が必要です)
- 定員 若干名

### 場所

総合福祉センター内「機能回復プール」

### 内容

水中でのウォーキングや体操など

### 参加費

「健康維持コース」「リハビリテーションコース」の前半・後半とも各3,000円となります。※参加費は前半・後半に分けてお支払いください。

### 申し込み・問合せ

2月28日(土)から3月5日(木)までに、高齢者センター(☎282-4300)へお越しの上、申し込みください。なお、受け付けに当たっては、初参加の方を優先し、簡単な問診を行います。

## 催し物(講演会ほか)

参加費  
無料

### 「ひなまつり会」を開催します

ボランティア団体「たんぼの会」の協力により、ひなまつりにちなんだ絵本の読み聞かせや、簡単な工作を行います。ぜひご参加ください。

- 日時 2月28日(土) 午後2時～3時
- 場所 村立図書館(多目的ルーム)
- 対象 小学生以下のお子さんとその保護者
- 申し込み・問合せ 村立図書館(☎282-3435)  
※事前申し込みは必要ありません。

## 3月の休日診療日程

診療時間 午前9時30分～正午、午後1時～2時

期日	病医院名	電話番号
1日(日)	東原クリニック	283-2301
8日(日)	東海クリニック	283-1711
15日(日)	村立東海病院	282-2188
20日(金)	茨城東病院	282-1151
22日(日)	石井整形外科クリニック	270-5141
29日(日)	村立東海病院	282-2188

救急医療機関をお探しのときは… 電話番号  
茨城県救急医療情報コントロールセンター  
(毎日・24時間対応) 241-4199

茨城子ども救急電話相談(毎日・午後6時30分～10時30分)  
254-9900

電話番号 # 8000 (プッシュ回線用加入電話、  
携帯電話 NTTDoCoMo・KDDI・SoftBank)

## 3月の健康相談

場所 保健センター(総合福祉センター「絆」内)  
問合せ 保健センター(☎282-2797)

健康相談	相談名	日時
	母子健康相談 (乳幼児身体測定、育児相談)	30日(月) 9:30～11:00 13:00～14:00
	元気アップ健康相談 (健康に関する相談)	30日(月) 9:30～11:00 13:00～14:00

乳幼児健診	健診名	日時	対象児
	乳児	19日(木) 13:15～14:00	平成20年10月生まれの子
	1歳6か月児	18日(水) 13:15～14:00	平成19年8月生まれの子
	3歳児	25日(水) 13:15～14:00	平成18年1月生まれの子
	2歳半歯科	27日(金) 13:15～14:00	平成18年8月生まれの子

乳幼児教室	教室名	日時	対象児
	赤ちゃん教室	24日(火) 13:20～15:00	平成20年12月生まれの子

## 「フランス文化講座」開催

東海村国際交流協会では、「フランス社会を変えたシャンソン～心を動かすシャンソン～」と題し、姉妹都市交流会館で文化講座を開催します。コーヒーなどを楽しみながらフランス文化に触れてみませんか。

- 日 時 3月7日(土) 午後2時～4時
- 内 容 1960年代以降の代表的なシャンソン曲について、茨城県国際交流員のオレリアン・バロンさんが音楽と画像・映像を交えて紹介します。
- 参加費 東海村国際センター会員は100円、会員外は200円
- 問合せ 東海村国際センター事務局(東海村姉妹都市交流会館内 ☎282-0535)

## 公民館講座特別企画

### 「郷土に残る昔話や伝説を聞こう～国民文化祭の感動をもう一度～」

まだ記憶に新しい、昨年11月8日に開催の「第23回国国民文化祭-いばらき2008」の「民話フェスティバル」——“あの感動をもう一度!”と、紙芝居やミュージカルなどを開催します。入場は無料(定員180人)。皆さん、お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

- 日 時 3月14日(土) 午後1時30分～4時(午後1時開場)
- 場 所 テクノ交流館リコッティ(舟石川駅東三丁目)
- 内 容 第一部…①照沼学童クラブによる「子ども紙芝居」、②東海村民話再生の会による新作紙芝居「歩いてみよう舟石川」「肥をかけてはいけない田んぼ」、③NPO法人郡山語りと方言の会による語り(出演:山田登志美さんと五十嵐敬子さん) 第二部…劇団とみかるによる「ミュージカル(真崎城の白百合姫)」
- 問合せ 中央公民館(☎282-3329)

## NPO法人「楽楽茶の間」主催

### 生きがいづくり支援事業を開催

NPO法人「楽楽茶の間」が村からの委託を受けて行う「生きがいづくり支援事業」に参加し、健康体操やレクリエーションを通して楽しく仲間づくりをしませんか。

#### ■日程等

期 日	場 所
3月3日(火)	なごみ・総合支援センター 真崎コミュニティセンター
3月10日(火)	なごみ・総合支援センター 舟石川コミュニティセンター
3月17日(火)	なごみ・総合支援センター 石神コミュニティセンター 外宿二区自治集会所
3月19日(木)	白方コミュニティセンター 村松コミュニティセンター 豊岡集落センター
3月24日(火)	なごみ・総合支援センター 舟石川コミュニティセンター

- 時 間 午前10時～午後3時
- 対 象 村内在住で65歳以上の方
- 参加費 350円/回(昼食代)
- 問合せ 岡部ちい子さん(NPO法人「楽楽茶の間」代表 ☎284-0215)

## 乳児・小児のための普通救命講習会

- 期 日 3月8日(日)
- 時 間 午前9時～正午
- 場 所 東海村消防本部・消防署(会議室)
- 対 象 普通救命講習未受講の方または普通救命講習修了証を交付されてから2年が過ぎている方(修了証をお持ちください)。
- 定 員 先着20人(最少催行人員5人)
- 内 容 乳児・小児の心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の取り扱い、異物除去を実技中心で学びます。
- 参加費 無料
- その他 ①動きやすい服装でご参加ください。②受講者には普通救命講習修了証を交付します。③保育サポートがありますので、希望の方は3月4日(水)までに申し込みください。
- 申し込み・問合せ 3月6日(金)までに、消防署救急救助担当(☎282-2038)へ申し込みください。※普通救命講習会は、職場・地域・グループ・サークルなど5人以上を対象に、いつでも開催しますので、お気軽にご相談ください。

## 3月1日～7日は春季全国火災予防運動週間

3月1日(日)から7日(土)まで、「火のしまつ 君がしなくて 誰がする」を統一標語に、火災予防運動が実施されます。火の用心に心掛けましょう!

■住宅防火 命を守る7つの習慣と対策 ①“寝たばこ”は絶対やめる。②ストーブは燃えやすい物から離れた位置で使用する。③ガスコンロなどのそばを離れるときは必ず火を消す。④火災時の逃げ遅れを防ぐために住宅用火災警報器を設置する。⑤寝具・衣類やカーテンに防災品を使用する。⑥火災による被害を最小限に抑えるために住宅用消火器を設置する。⑦お年寄りや体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

■問合せ 消防本部予防課(☎282-2038)

参加費  
無料

## 「みんなですこやかウオーキング」開催

- 日時 3月4日(水) 午前10時から  
※雨天時は中止となります。
- 場所 総合福祉センター「絆」
- 対象 村内在住の方
- 内容 約1時間のウオーキング(4kmまたは5kmのいずれかのコースを選択)
- その他 飲み物とタオルをお持ちの上、歩きやすい服装でご参加ください。
- 問合せ 保健センター(☎282-2797)  
※当日の午前9時30分から総合福祉センター「絆」の正面入り口前で受け付けを行います。

## 1月の村内交通事故発生状況

	発生件数	死者数	負傷者数
1月中の件数	24	0	28
1月からの累計	24	0	28
前年との比較	-2	0	-5

# エトセトラ

## 傍 聴 席

### 平成21年第1回東海村議会定例会開催

期 日	開会時間	議 事
3月2日(月)	午前10時	議案上程
3月10日(火)	午後1時	代表質問
3月11日(水)	午前10時	代表質問
3月12日(木)	午前10時	一般質問
3月13日(金)	午前10時	一般質問
3月25日(水)	午前10時	議案審議

■問合せ 議会事務局(内線1281) ※議場での傍聴はどなたでもできます。お近くのコミュニティセンターや総合福祉センター「絆」でも議会中継を見ることができます。また、議会終了から1週間後には議会ホームページ(<http://www.gikaitv.net/dvl-tokai/index.html>)で録画放映もご覧になれます。

## 劇団コミュニケーション「ROCK・夜曲～放火魔ツムの優しい夜～」

- 東北地区の文化会館9館の合同企画、劇団コミュニケーション(日立市)による演劇公演です。入場無料ですので、お気軽に演劇をお楽しみください。
- 日時 3月8日(日) 午後2時開演(午後1時30分開場)
  - 場所 東海文化センター(全席自由)
  - 問合せ 財団法人東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内 ☎282-8511)

## 「茨城県ゆうあいスポーツ大会」が開催

障がいがある方のスポーツ振興を図るとともに、県民の障がい児者に対する理解と認識を深めることを目的とする第11回「茨城県ゆうあいスポーツ大会」が笠松運動公園等で開催されます。

- 日時 5月24日(日) 午前10時から ※雨天時は5月31日(日)に順延となります。
- 種目・対象

競技種目		参加対象
個人競技	陸上競技、水泳、ボーリング、フライングディスク	平成21年4月1日現在で満13歳以上の知的障がいのある方
団体競技	サッカー、バレーボール、バスケットボール、フットベースボール	心身に障がいのある方
レクリエーション競技		心身に障がいのある方

■申し込み・問合せ 3月17日(火)までに福祉部介護福祉課障がい支援担当(内線1166)へ申し込みください。

## 高齢者センター「機能回復プール」の一般開放を中止

総合福祉センター「絆」内の高齢者センターでは、3月9日(月)～21日(土)まで、「機能回復プール」における暖房設備の増設工事に伴い、プールの一般開放を中止します。利用者の方には、ご迷惑をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

■一般開放中止日 3月10日(火)・11日(水)・14日(土)・17日(火)・18日(水)・21日(土)

■問合せ 高齢者センター(☎282-4300)

## 「大人が楽しむおはなし会」開催

ボランティア団体「たんぼぼの会」の協力により、大人を対象としたお話し会を開催します。幼い日を思い出しながらの温かい時間を過ごしてみませんか。

- 日時 3月19日(木) 午前10時～11時
- 場所 村立図書館(多目的ルーム)
- 内容 絵本、紙芝居、おはなしなど
- 参加費 無料
- 申し込み・問合せ 村立図書館(☎282-3435)  
※事前申し込みは必要ありません。

# 3月の資源物・ごみ収集日割表(祝日の収集も行います)

問合せ 経済環境部ごみゼロ推進課 (☎282-7289)

資源物			燃えないごみ・粗大ごみ	
真崎、村松北、舟石川中丸外宿2、原子力機構(太田)	2日・9日 16日・24日	内宿1、亀下	5日・12日 19日・27日	押延、須和間、船場、原子力機構(荒谷台)
船場、照沼	2日・16日	百塚、内宿2、豊岡	5日・19日	竹瓦、内宿1、内宿2
原子力機構(長堀1・長堀2・荒谷台・箕輪)、須和間	3日・10日 17日・25日	舟石川3	12日・27日	真崎、村松北、権現山寮、真砂寮
緑ヶ丘	3日・17日	竹瓦	6日・13日 23日・30日	原子力機構(長堀1・長堀2)、原電滝坂、石橋向住宅、外宿1、外宿2
白方	10日・25日	舟石川2	6日・23日	緑ヶ丘、南台
舟石川1、原子力機構(百塚)	4日・11日 18日・26日	南台、川根、原電滝坂	6日・23日	百塚、豊岡、亀下、豊白
宿、押延、岡	4日・18日	豊白	13日・30日	白方、岡、原子力機構(百塚)
外宿1	11日・26日	※各回収日の午前7時から8時30分までに出してください。		舟石川1
				原子力機構(太田・箕輪)、宿、川根、照沼
				舟石川2、舟石川中丸

燃えるごみ	
真崎、村松北、白方、宿、岡、原子力機構(太田・箕輪・百塚・荒谷台)、真砂寮、権現山寮、南台、緑ヶ丘、押延、須和間、川根、照沼、豊岡、亀下	(毎週) 月曜日・木曜日 2日・5日・9日・12日 16日・19日・23日・26日・30日
舟石川1、舟石川2、舟石川3、舟石川中丸、百塚、豊白、原子力機構(長堀1・長堀2)、長堀寮、原電滝坂、石橋向住宅、外宿1、外宿2、船場、竹瓦、内宿1、内宿2	(毎週) 火曜日・金曜日 3日・6日・10日・13日 17日・20日・24日・27日・31日

## 一般廃棄物・産業廃棄物処理施設設置許可申請に関する生活環境影響調査結果の縦覧

茨城県では、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき、株式会社東海クリーン(沼田元良・代表取締役)が平原南部工業団地内へ計画している一般廃棄物・産業廃棄物処理施設(焼却施設)の設置に関し、周辺地域の生活環境に及ぼす影響についての調査結果報告書等の縦覧を行います。

- 期間 2月25日(水)から3月25日(水)まで(土・日曜日と祝日を除く)の午前9時～午後5時
- 場所 県庁生活環境部廃棄物対策課(水戸市笠原町978-6) 役場環境政策課
- 意見書の提出等 この施設の設置に関し、利害関係を有する方は、生活環境の保全上の見地からの意見書を提出することができます。提出期限は4月8日(水)まで。提出先は、茨城県生活環境部廃棄物対策課または役場経済環境部環境政策課です(意見書の用紙は縦覧場所にあります)。
- 問合せ 経済環境部環境政策課環境保全担当(内線1452)

## 経口生ポリオワクチンの投与

- 生ポリオワクチンは小児まひに対する免疫をつくるもので、2回の投与が必要です。
- 日時 3月16日(月)・17日(火) 午後1時～2時 ※いずれかの日時に受けてください。
  - 場所 保健センター
  - 対象 合計2回のワクチン投与が済んでいない生後3か月から7歳6か月未満の乳幼児(投与の間隔を41日間以上空けること)
  - 問合せ 保健センター(☎282-2797) ※当日は、母子健康手帳と予診票をお持ちください(予診票が届いていない方はお問い合わせください)。

## となりのまちから イベントガイド

### 笠間市 ● クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま

国際音楽アカデミー「クールシュヴェール」のカリキュラムに従い、参加講師を招き開催される「クールシュヴェール国際音楽アカデミー in かさま」。今年で5回目を迎える音楽の祭典にぜひお越しください。

- ◆期間 3月21日(土)～3月30日(月)
- ◆主な内容 公開レッスン…世界最高峰の講師によるピアノ・ヴァイオリンのレッスンの一部が一般公開されます。場所…茨城県教育研修センター(笠間市平町1410) 講師コンサート(21日・26日・28日)…世界トップクラスの演奏家(アカデミー講師)によるコンサートです。場所…茨城県教育研修センター、笠間公民館(笠間市石井2068-1)
- ◆問合せ 笠間市教育委員会 (☎0296-77-1101)

## 特定疾患患者等へ医療福祉助成金を支給

- 対象 ①特定疾患の治療をしている方(「一般特定疾患医療受給者証」の交付を受け、自己負担のある方)②関節リウマチの治療をしている方③精神疾患の治療をしている方(「精神障害者保健福祉手帳」「自立支援医療受給者証(精神通院)」の交付を受け、自己負担のある方)——のいずれかに該当する村内在住の方
- 助成額 医療費の自己負担分のうち、月額4,000円まで
- 必要書類 申請書、医療機関の領収書(領収日が平成20年9月～平成21年2月のもの ※ただし、昨年9月に申請をしていない方は、平成20年3月～平成21年2月のもの)、振込口座番号が確認できる預金通帳やカード、委任状と印鑑(振込口座が申請者本人の名義でない場合のみ)のほか、①の方は受給者証、②の方は医師の診断書(過去に助成を受けたことのない方のみ)、③の方は手帳(自立支援医療受給者証の交付を受けている方は「自己負担上限額管理票」)が必要となります。
- 申し込み・問合せ 3月2日(月)から31日(火)(土・日曜日と祝日を除く)までに、①と②の方は保健センター(☎282-2797)、③の方は なごみ・総合支援センター(☎287-2525)へ申し込みください。

# インフルエンザ

～知識は最良のワクチン、  
平時のときこそ備えを～

今月は、「通常のインフルエンザ」と「新型インフルエンザ」についてお話しします。

まず、「通常のインフルエンザ」ですが、流行しない年はないといわれ、日本人の1割前後が毎年感染し、大規模な流行を繰り返しています。村内では、1月ごろからインフルエンザの流行が見られ、幼稚園や小・中学校では感染拡大防止のための学級閉鎖等の対応が迅速に取られています。

「通常のインフルエンザ」は、12月から3月ごろに流行し、流行すると短期間で多くの人たちに感染します。感染してから発症するまでに2日～5日かかるといわれており、症状としては、初めに体がぞくぞくと寒さを感じたり、発熱が起き、全身のだるさや筋肉痛、「風邪」と同じような症状(頭痛・のどの痛み・咳など)が見られます。症状の現れない感染初期でも周囲の人に感染させてしまう場合がありますので、症状の有無に関わらず、流行時はできるだけ自宅を過ごすことをお勧めします。特に、高齢者やぜんそくなどの呼吸器疾患、心疾患、糖尿病の方が感染

してしまうと、重症化しやすいといわれています。感染したかな?と思ったら、早めにかかりつけの医療機関で受診しましょう。なお、インフルエンザにかかったときは、高熱と食欲低下で水分が不足し、脱水症状を引き起こしやすくなっているため、少量ずつ水分を補給することが大切です。また、薬を服用する際は、医師や薬剤師の指示に従い、正しく服用しましょう。

## インフルエンザ予防のポイント

- ① 手洗い・うがいの励行やマスクの着用を心掛け、人込みは避けるようにしましょう。マスクの着用により、ウイルスを周囲の人からうつさないという効果と、かかっている人からのくしゃみや咳などのしぶきに含まれるウイルスを直接吸い込むのをある程度防ぐという効果が期待できます。また、咳エチケット<sup>※</sup>の習慣化も非常に重要です。
- ※ 咳エチケット: ①咳・くしゃみの症状があるときはマスクを着用し、持っていないときは、ちり紙などで口と鼻を押さえ、周囲から顔をそむけて1メートル以上離れる。
- ② 鼻汁・痰を含んだちり紙は、すぐにふた付きごみ箱へ入れる。
- ③ 咳・くしゃみをしている人にマスクの着用をお願いする。
- ④ 睡眠・栄養を十分とり抵抗力を高めましょう。
- ⑤ 室内の換気と適度な湿度(50%～60%)を保ちましょう。
- ⑥ インフルエンザワクチンを接種しましょう。

## 「新型インフルエンザ」について

ほとんどの人が抵抗力・免疫を持たない「新型インフルエンザ」の出現が心配されています。今のところ、鳥インフルエンザ(H5N1型)の突然変異が「新型インフルエンザ」の原因になる可能性が高いといわれています。しかし、いつ発生するかも予測することができないため、国や自治体では行動計画を定め、発生に備えています。

被害の拡大を最小限に抑えるには、一人ひとりの感染防止策も重要です。今回ご紹介した「インフルエンザ予防のポイント」は、「新型インフルエンザ」にも有効です。なお、発生したときに大切なことは、人と接触する機会をできるだけ減らし、人から人への感染をできるだけ少なくすることです。感染状況によっては、学校・会社・店舗などは休業し、自宅待機や地域封鎖などの措置が必要となることも考えられます。自宅待機などの方が一に備えて、最低2週間分の食料や日用品、不織布製マスク(一人当たり20枚～25枚)、ゴム手袋、消毒用アルコール、懐中電灯、防寒具などを準備しておきましょう。

▼ インフルエンザ等感染症相談窓口(803-32343479 平成21年3月31日まで) ▼ 厚生労働省ホームページ ▼ 国立感染症研究所感染症情報センターホームページ ▼ 茨城県感染症情報センターホームページ — などによる情報を併せて参考にしてください。

【問合せ】保健センター(8282局2797)

# 3月1日(日)から 6店舗でレジ袋配布を中止

日々のお買い物とともにご家庭へお持ち帰りになるレジ袋の使用削減によって環境への影響・負荷低減に貢献していただく。3月1日(日)から村内6店舗でのレジ袋の配布が中止されます。この取り組みは、「東海村におけるレジ袋削減に関する協定」に基づくもの。例えば二つのご家庭がレジ袋の代わりにマイバッグをお持ちになると、年間58kgの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出削減につながる効果があります。多くの皆さんのご協力をお願いします。

## レジ袋の配布を中止する村内6店舗

- ①イオンリテール(株)ジャスコ東海店  
(舟石川駅東四丁目1番1号 ☎287局3311)
  - ②(株)カスミ舟石川店  
(東海三丁目1番25号 ☎283局4111)
  - ③(株)黒田青果ステーションヨコエ東海店  
(村松北二丁目12番1号 ☎270局5571)
  - ④(株)セイブ東海店  
(舟石川駅西二丁目16番13号 ☎283局2337)
  - ⑤Yショップ(ヤマザキショップ)須藤  
(村松1125番地 ☎282局3979)
  - ⑥Yショップ(ヤマザキショップ)二軒茶屋店  
(石神外宿2452番地 ☎282局2774)
- ※レジ袋が必要な方には1枚2円〜5円で販売されます(この販売による収益は、環境保全活動等の社会貢献に役立てられます)。
- お問い合わせ▼経済環境部環境政策課環境計画推進室(☎282局1711 内線1453)



# 村の記憶

(元)「東海村史編さん委員会」専門委員

藤田 雅一



時折、「東海村史」(民俗編)を開く。 「東海村史」(民俗編)は、昭和60年代、村内の  
お年寄りに対して行った聞き取り調査等を基に編さんされ、平成4年10月に刊行されました。1000ページを超える内容には、明治・大正・昭和を生き抜いた先人たちによって築かれた東海村の歴史・生活が詰まっています。

当時、お年寄りたちから話を聞いてみると、戦後の村の生活がいかに大きく変動したかを実感したものです。特に昭和30年代の経済成長期は、地方が競い合って都市化した時代であり、地域色のある個性的な生活は、大都市と近代化の影響を受け、次第に画一化されていったのです。しかし、古くからの生活にこだわりを持ち、あえて「しきたり」を守り続ける方々もいました。もちろん守るべきものには個人差があり、また家ごとに違いもありましたが、「しきたり」と併せて、「がれい」という言葉を耳にしたものです。漢字で書くと「家例」となり、この守るべき家の「しきたり」は、「東海村史」(民俗編)にも多く紹介されています。 「東海村史」が刊行されて16年がたち、村の姿

はさらに大きく変貌しつつあります。姿ばかりではなく、生活やそれを支える人々の意識も――。

「東海村史」(民俗編)の調査中にもかかわらず、多くの行事が行われなくなっていました。そのような行事の中にも、地域での継承が試みられていたものがありました。無病息災を願う小正月(陰暦1月15日)の行事「ワーホイ」を公民館分館(現在の自治集会所)と子ども会が連携して行ったり、小学校が老人会(現在の高齢者クラブ)と連携して、「マユ玉作り」を行ったりしていました。「マユ玉」は、「ワーホイ」と同じく小正月の行事で、一年間の五穀豊穡を祈願するものであり、「東海村史」(民俗編)の502ページには、旧家の土間に飾られた「マユ玉」を前に、お年寄りが子どもたちに説明している写真が掲載されています。 地域の伝統文化を継承するには、「地域の記憶」を子どもたちに伝えていかなければなりません。 「東海村史」(民俗編)等をはじめとする資料の数々が大いに活用され、地域の伝統文化の継承にかかわることができたら、関係者として、これほどうれしいことはありません。